

て感じます。

もちろん、パソコンが仕事という方もたくさんいますから一概には言えませんが、そのパソコンの一部の機能を集中的に使っているという方がほとんどではないでしょうか。今ではいろんな会社が製造しているのがデザイン、機能、価格などでしのが削っています。でも、その結果操作が煩雑になったり、壊れやすかったり。めちやくちやシンプルで故障知らずというパソコンがあっても良いなあと思います。まさに温故知新ですね。

歯の医者

この四月から医療保険が改定され最初はいろいろ大変だなあと思いま

す。医科の方で言うと「胃ろう」を作る点数がすごく下がってしまいました。単純に考えると「胃ろうを勧める医療者が少なくなる」ということになるのですが、決して口から食べることを大切にする医療者が増える訳ではありません。きっと別の弊害が出るでしょう。また、老人ホームのようなどころへの訪問診療の点数も下げられました。これも医療界では大きな話題になっています。

このような大きな改正時には事前の説明会が行われます。行政でやったり、職能団体でやったりすることもあります。僕たちは中野スペースゼロで行われた説明会に行ってきた。夫婦そろってこの手の話は苦手なところで大ホールの一審後ろ、一番端に座っていました。

開会時、すごくえらい方の挨拶か

ら始まりました。

「少子高齢化の時代、むし歯も少なくなりまして。われわれの仕事が少なくなります！危機感を持ちましょう！」



なんて言われて二人で引いてしまいました。僕たちの仕事は食べる機能をも高める仕事であって歯だけ守っているわけではありません。歯を守ることは食べるための手段であって目的ではありません。

当日は自分たちの聞きたいことだけサツと聞いて途中退席。外に出るとため息が出てしまいました。まだまだ「歯の医者」と思っている同業者が多いことを知ってちよつとショック。医療界が変わるのは本当に大変なことだと思いました。